

体のキズは消えないけれど、心のキズは消えました

ある年8月下旬、その月の中旬に長野で行われた交流合宿に参加したS. T. 君から、昨夏の交流合宿の時と同様、今年もなんと素晴らしい感想文を届けてくれました。

2年前交通事故に遭い、右足に大きな傷跡を残してしまい、前年その傷のことでみんなから「気持ちが悪い」、「皮膚の色が違う」と言われ、「傷の痛みよりも、心が痛くてたまらなくなった」T君。彼曰く、「自分に自信を無くし」、「友達と遊ぶこともできなくなってしまった」のです。

そんな彼を心配して母親が、前年当（NPO 静岡県教育）フォーラムに相談してきたことから、昨夏の交流合宿参加を勧め、4回目の手術後で車いす参加となったため、母親と一緒に参加。「大自然の中で僕は少し、自分に自信を取り戻すことができ」、「みんなから元気ももらい、人を思いやる心を学び」、今年は（手術の成功で）「自分の足で参加でき、昨年一緒に参加した友達にも会うことができ、新しい友達もできて随分良かった」ようでした。

読ませて頂いて何よりも嬉しかったのは、「交通事故でぼくの体のキズあとはきえてくならないけれど、心のキズは消えました。大自然とみんなから生きる勇気と元気をもらって、ぼくは心も体も元気いっぱいです。学校へはりきって行っています。楽しくて一日が短く感じます。」と締め括ってあったことです。

最後に、私やリーダー達、そして一緒に参加した友達へのお礼の言葉もしっかりと書いてくれてありました。